この度は弊社のトランシーバーＤＸ－ＳＲ８をお求め頂き、誠に有り難うございます。

「DX-SR8 Clone Utility」はオプションの ERW-4C（シリアルポート用・国内での販売は終了しております）又は ERW-7（USB ポート用）ケーブルを使って DX-SR8 とパソコンを接続することでお使いになれます。

● はじめに：本プログラムはフリー・ソフトウェアであり、いかなる保証も行いません。プログラムをご利用になることで発生したハードウエア・他のソフトウェアやデータへのダメージなど弊社は一切補償致しかねますので、ご了承下さい。本プログラムの著作権はアルインコ（株）が所有しますが、商業利用を目的としない限りご自由にお使いいただけます。

● 主な機能： ・デフォルト値の設定 ・セットモードのパラメータ設定 ・メモリ周波数データの入力・編集した上記データの保存、書き換え・他の DX-SR8 へのクローンができます。

● 注意：

＊ 当ソフトは、WindowsXP, Vista, 7 での動作確認を行っております。共に管理者権限でインストールを行ってください。

＊ このソフトで使うケーブル類をお持ちであればファームウエアのバージョンアップも同様に行えます。当ソフトとファームウエアのバージョンアップのいずれかを行った際は、もう一方のソフトにも変更がないか合わせてご確認下さい。変更する必要が無ければ特にお知らせは致しません（ファームウエアを提供していない場合もございます）のでそのままお使いください。

＊ USB コンバーターを使用し、ERW-4C を USB ポートに接続しての動作検証も行っておりますが、相性などにより動作しない場合はシリアルポートのある PC 又は ERW-7 をご使用下さい。

＊ バグのご連絡は edomestic@alinco.co.jp で承りますが、操作方法についてのご連絡やお問い合せはご容赦ください。まずソフトをインストールして内容をご覧のうえ、お使い頂けそうであればケーブルをお求め下さい。

● インストール・アンインストールについて：

＊ ダウンロードするファイルはインストーラー形式です。アンインストールはコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行って下さい。

＊ 本ソフトのアップデートを行うときは、旧バージョンを必ずアンインストールしてから行ってください。

＊　ファームウエアのアップデートと異なり、もし書き込み・読み込み中にエラーやフリーズなどが発生しても、無線機・ソフトとも再起動すれば初期状態に戻ります。但し保存していないデータは失われますので、特に新しく作ったデータで書き込みをする際は、常に必ずデータファイルを保存してからプログラムを操作してください。

●　操作方法について：

＊ プログラムを立ち上げ、電源を切ったＤＸ－ＳＲ８のＳＰ（スピーカー）ジャックにケーブルのミニプラグをしっかりと接続します。ＤＸ－ＳＲ８の電源を入れます。クローンモードに入る必要はありません。初めてお使いの際はプログラムのツール→COM ポートの設定を行ってください。（ウインドウズのデバイスマネージャーのプロパティで“ポート（ＣＯＭとＬＰＴ）”を参照、ＵＳＢ serial port(COM*)の番号をツールバー上のツール＞【ＣＯＭポート設定】メニューで合わせる）

＊ Setting タブを開き、Model のパラメータで Auto Select ボタンを押します。無線機とＰＣが正常に通信できていれば、自動的にお使いのＳＲ８のバージョンを読み出して設定されます。

＊　操作する Read（読み込み）/Write（書き込み）ボタンやツールバーのメニューにより、全体の読み書きと部分的な読み書きが行えます。

＊　[Success memory read]のような表示が出て通信が終わったらＤＸ－ＳＲ８の電源を切ってください。ERW-4C/ERW-7 ケーブルをジャックから抜いて、 再度電源を入れると書き込み内容が反映されます。

●セッティングタブの操作：

＊　設定の項目は無線機で出来る操作と同じです。直感的に分かる操作はここでは説明しておりません。

●　メモリータブの操作

＊ 表の行をクリックすると詳細設定画面がポップアップします。設定が終わったらＯＫをクリックします。

＊ Clear ボタンで編集したデータの消去が行えます。

●　トラブルシュート： 上手く動かない場合のほとんどはＣＯＭポートの設定が出来ていないか、ケーブルを抜き差ししたことでポート番号が変わっているケースです。ウインドウズ＞システム＞デバイスマネージャーでポート（ＣＯＭとＬＰＴ）のプロパティに表示されるＵＳＢ ＳＥＲＩＡＬ ＰＯＲＴ（ＣＯＭ＊）の番号をソフトのＣＯＭポート設定に合わせてください。他ではＥRW－７ドライバーの入れ忘れ、プラグをＰＨＯＮＥポートに挿している、などが考えられます。まれにＥＲW－７とＰＣの相性によって、途中で読

み込み・書き込み動作がフリーズする場合、ＵＳＢシリアルポートのプロパティ＞ポートの設定＞詳細設定＞BMオプションの待ち時間設定（デフォルト１６ｍｓ）を長く（数字を大きく）変更することで、時間が少し多めに掛かるようになりますがパフォーマンスが改善することがあります。プログラムがセッションの途中でフリーズしても無線機にはダメージはありません。強制終了して再度開き、無線機はクローンモードに入り直すだけで改めて操作ができます。

その他：

＊ 当ソフトは、ＤＸ－ＳＲ８をより快適にお使い頂くためにご提供させて頂いておりますが、あくまで無償のオプションであり、製品のように弊社が責任を持ってメンテナンスやサポートを行う対象のものではありません。

＊ 弊社では、お客様のご依頼のデータを編集・書き込みすることは有償サービスとしても一切行っておりません。

アルインコ（株）電子事業部